

「市長とタウンミーティング」報告

語り合い、話し合い、分り合う

市民と大西市長が直接意見を交わす機会である「市長とタウンミーティング」は、昨年11月で全地区を回り終えました。全部で77件の要望やまちづくりに関する意見を伺いましたので、その内容についてお知らせします。長門市のこれまでを振り返り、これからについて、一緒に考えてみませんか。

- 開催状況
 - ・実施時期 平成24年11月・平成25年7月・11月（全17会場）
 - ・全参加人数 のべ544人（男性486人 女性58人）
 - ・市側の出席者 大西市長、村田副市長、江原教育長、各部長、支所長（三隅・日置・油谷地区のみ）、企画政策課長 ほか

タウンミーティングとは

地域住民の生活に関わる問題を話し合う会議。長門市では、市民の皆さんと市長が直接意見交換することで、「地域の課題を地域の皆さんと行政とがともに知恵を絞り、力を出し合い、どのように改善していくか」を話し合うために開催しています。



アンケートについて

会場アンケートを実施しました。

●参加者年齢

10代	0.4%
20代	0.4%
30代	4.4%
40代	9.3%
50代	24%
60代	34%
70代	24%
80代	3.5%

●参加回数は？（まちづくり懇談会を含む）

初めて参加	44%
2回目	23%
3回以上	33%

●何で開催を知りましたか？

広報	67%
知人・友人	5%
自治会長から	20%
ほっちゃテレビ	2%
その他	6%

●「市長とグループトーク」について

知っている	68%
知らない	32%

※「市長とグループトーク」は、市長が自治会

成長戦略について

Q 市が取り組んでいる「ながと成長戦略」は、どう進められていくのか？

A 「ながと成長戦略」では、外部の有識者等には地域に入ってもらっていただいて各種団体等と一緒に汗をかいてもらうことにしています。その進め方としては、まず長門市全体で安心・安全な食品を作っていきます。またそのような食品を高値で取引してもらえようというブランド化を行い、LCCにより販路の拡大に努めます。このほかにも、「一市一農場」の実現による安定供給体制づくり、地域資産を生かした俵山地区の観光振興を軸に、雇用の場の創出・拡大、所得の向上を実現していきます。

避難場所への海拔表示について

Q 東日本大震災での津波の被害がクローズアップされていますが、長門市での津波への対策として海拔表示



道路や河川の草刈りについて

Q 市民協働ということで、道路の草刈りや河川の清掃

が必要だと思えます。市の対応は？

A 国においては、大規模地震検討会があり、その検討会の結果に合わせ県から浸水域が示されることになっています。これを元に、地域防災計画の見直しや市道250カ所への海拔表示を予定しています。また、今年度避難所ごとに海拔表示の設置を予定しています。

について自治会などで協力しているが、高齢化などで難しくなっている。また、観光で長門を売り出している中、草が生えていたりするとイメージが悪いのではないかと。

A 道路管理者が行う草刈りは、年1回を原則としています。市民協働を進めている中、市民の皆さんには、1mあたり30円の燃料代で草刈りをお願いしているところではあります。

国道や県道については、市からそれぞれ管理者に要望をしているところですが、維持管理経費の大幅な増額は予算的に難しい状況です。今後も国・県に維持管理について要望していきたいと考えています。

河川については、浚渫が必要な箇所は管理者に要望を出しています。住民による河川清掃については、毎年8月の河川清掃強化月間に協力いただいております。

しかし、これまでどおりの清掃活動が難しくなってきたことも認識しておりますので、できる範囲で

の対応をお願いします。今後、県と一緒に頑張って対応を考えていきたいと考えています。

自治会機能の回復について

Q 高齢化が進み、空き家が増え、自治会が成り立たなくなってきたが、市としてどう考え、取り組むのか？

A 人口減少により、存続が危ぶまれている自治会があることは認識しています。市としては、25年度から集落再生事業としてモデル的に三隅地区と油谷宇津賀地区で、地域づくりのための協議会を立ち上げました。その中で、市の職員も地域づくり支援員として関わりながら、課題について話し合い、解決策をみんなで考えていくこととしています。

この2地区での取組を検証し、今後市内全域に展開していきます。

寄せられた意見・要望など

成長戦略・農水産業振興

やグループ、サークル等の団体が指定する施設に伺い、10人程度の参加者と懇談するものです。申込は市役所・支所・出張所、市ホームページで受け付けています

●タウンミーティングの開始時間・開催日について
平日夜間の開催を希望する人 約68%

今後より多くの市民の皆さんが参加できるようにしていきたいと考えます。

12件、河川・道路の清掃・草刈11件、防災関係11件、道路整備（市道・県道）7件、有害鳥獣対策4件、自治会機能3件、観光3件、高齢者福祉3件、ダム2件、空き家対策2件、下水道整備2件、福祉施策2件、その他15件（合計77件）

今後市では、寄せられた意見や要望を十分に検討し、期待に応えられるよう努力していきます。

■問い合わせ 企画政策課 広報広聴係 TEL 23・1117